

政務活動費支出簿

経費の範囲の項目	調査研究費
----------	-------

領収書 No	支出年月日	内 容	金 額	備 考
⑪	令和8年2月20日	中間貯蔵施設、東電福島第一原発 視察	128,640	塚崎 泰史
		合 計	128,640	

領 収 書

塚崎 泰史 様

No 260201
発行日 2026/2/20

下記、正に領収いたしました。

件名	中間貯蔵施設・東京電力福島第一原子力発電所視察
請求日	2025/11/8
支払期限	入金済み
入金日	2025/12/19

〒604-8822
京都市中京区壬生辻町54
京都府知事登録第3-522号
豊田旅行

合計	¥135,800
----	----------



TEL : 075-841-1915
担当：豊田 陽

国内線代：伊丹／仙台片道 エコノミークラス	1	式	12,900	12,900	12,900
国内線代：福島／伊丹片道 エコノミークラス	1	式	14,800	14,800	14,800
専用車代：2月1日～2月3日（3日間）	1	式	36,000	36,000	36,000
宿泊代：ARMS FUTABA（1泊2食付）	1	式	10,000	10,000	7,900
宿泊代：Jヴィレッジ アネックス（1泊2食付）	1	式	16,500	16,500	11,440
入場料：東日本原子力災害伝承館	1	式	600	600	600
視察に掛かる諸経費（事前予約手数料等）	1	式	45,000	45,000	45,000
				135,800	128,640

2020/3/30

発行日 2025年11月8日
請求書番号 TJ20251113

請求書

〒 [REDACTED]
[REDACTED]
塚崎 泰史 様
TEL [REDACTED]

〒604-8822
京都市中京区壬生辻町54
京都府知事登録第3-522号 豊田旅行
TEL/FAX 075-841-1915
担当者 総合旅行業務取扱管理者豊田陽

この度は弊社をご利用いただきまして誠にありがとうございます。
下記の通り、ご請求申し上げます。

一般社団法人京都自治体問題研究所 特別企画
「中間貯蔵施設」と東京電力福島第一原子力発電所構内見学

ご出発日: 2026年2月1日(日) - 2月3日(火) 大阪・伊丹空港発着
ご予約内容

※別紙日程表およびご旅行条件書に記載の通り

ご利用明細		摘要	単価	数	合計
旅費	早割	大阪・伊丹空港発着	119,800 円	1名様	119,800
				ご請求額総計	119,800
				ご入金済み額	0
				差し引きご請求額	119,800

個室(一人部屋)希望の方は16,000円(2泊分)を加算して135,800円をお振込みください

合計 128,640

お支払い期日

2025年12月19日(金)

※遅れる場合は、予(あらかじめ)め振込み予定日をお知らせください。

お振込先(振込手数料は各自ご負担ください)

[REDACTED]
豊田旅行(トヨタリョコウ トヨタ アキラ)

ARM 双葉

部屋タイプ	素泊まり	朝食付き	2食付き
シングルA棟	4,900円～	5,500円～ @600	6,400円～ @1500
シングルB棟	6,500円～	7,100円～	8,000円～
シングルC棟	5,500円～	6,100円～	7,000円～
バリアフリー	7,000円～	7,600円～	8,500円～
ダブル (2名様)	11,000円～	12,200円～	14,000円～
ツイン (2名様)	12,000円～	13,200円～	15,000円～

2/00

丁ビレッジ 11.440 素泊まり 電話

福島県双葉郡双葉町に新築された

3棟合計134室(うちシングル124室)

無料駐車場完備

(普通車141台、大型トラック26台)

常磐自動車道「常磐双葉IC」から10分

JR常磐線「双葉駅」からシャトルバスで6分、徒歩24分

東日本大震災・原子力災害伝承館に隣接、双葉町産業交流センターに隣接



ビジネスホテルarm双葉
104 フォロワー

ページをフォロー

シェアする



ビジネスホテルarm双葉
約2年前

8月1日から双葉町民の方に入浴割引回数券を販売します。

皆様のお越しをお待ちしております



#福島県 #双葉町 #ビジネスホテル
ARM双葉

さくらの里「双葉の湯 花」からのお知らせ

1月1日より入浴割引回数券を発行いたします



ビジネスホテルARM双葉

0240-23-6040

Room / Food / Outline / Access /

お申し込みはこちら

ご予約はこちら

令和8年1月26日

綾部市議会議長 様

会派名 日本共産党綾部市会議員団
代表者氏名 団長 井 田 佳代子

研究研修・調査計画書

下記のとおり計画しましたので届け出ます。

記

1 日 程	令和8年2月1日（日）～2月3日（火）
2 行 先	福島県双葉郡大熊町
3 目 的	5 4 4 1 日を経た福島を知る
4 内 容	東日本大震災・原子力災害伝承館、 東京電力廃炉資料館 福島第一原発構内 大熊町長内施設 視察見学ツアー
5 概 算 経 費	119,800 円
6 参加議員名	塚 崎 泰 史
7 参考資料等	別添

令和8年2月9日

綾部市議会議長 様

会派名 日本共産党綾部市会議員団
代表者氏名 団長 井 田 佳代子

研究研修・調査報告書

研究研修・調査をしました結果を下記のとおり報告します。

記

1 日 程	令和8年2月1日（日）～2月3日（火）
2 行 先	福島県双葉郡大熊町
3 目 的	5 4 4 1 日を経た福島を知る
4 内 容	東日本大震災・原子力災害伝承館、 東京電力廃炉資料館 福島第一原発構内 大熊町長内施設 視察見学ツアー
5 支出経費の 内訳と金額	旅費 63,700 円、宿泊(食事除く)19,340 円 諸経費（入場料等）45,600 円 合計 128,640 円
6 参加議員名	塚 崎 泰 史
7 活動成果の 概要、所見	別紙
8 成果物資料等	別添

2026 年 2 月 1 日～3 日、京都自治体問題研究所が主催した「5441 日を経た福島を知る視察・見学ツアー」に参加した。

1 日目は中間貯蔵施設（環境庁）、2 日目は東日本大震災・原子力伝承館（双葉町）、廃炉資料館・福島第一原発構内（東京電力）、3 日目は大熊町・町内施設の視察と見学をした。

中間貯蔵施設は、地元住民には 2045 年までには放射性廃棄物を最終処分場を決めて移設することを約束したものの、その目途が未だ立たない現状を知ることができた。また、施設の立つエリアは帰還困難区域内にあることから、帰還したくてもいまだ帰還できない地元住民の複雑な心境をリアルに知る貴重な機会となった。

伝承館では、被災者の語り部コーナーがあり、当時の様子を間近に聞くことができた。また、展示コーナーには、事故当時の記録や遺品が数多くあり、15 年前の記録と体験から当時の様子を学ぶことができた。

福島第一原発構内の見学は、15 年前に水素爆発した原子炉建屋まで 100m の地点で見学をした。空間放射線量が約 $37\ \mu\text{s/h}$ を指し、日常生活の空間線量の約 1000 倍の値を示し、未曾有の事故現場であったことを実感した。

大熊町は、福島第一原発の立地自治体であり、現在復興に向けた取組が進められている。原発事故前には人口約 12000 人いたが、その内帰還できた住民は約 300 人であり、自然災害とは違う原発事故の異質性を知った。

本市も老朽化した高浜原発を 30km 圏内に抱える自治体である。福島の実地に赴き原発事故の経験と教訓を学び、本市のまちづくりや防災に活かすことの必要性を痛感した。

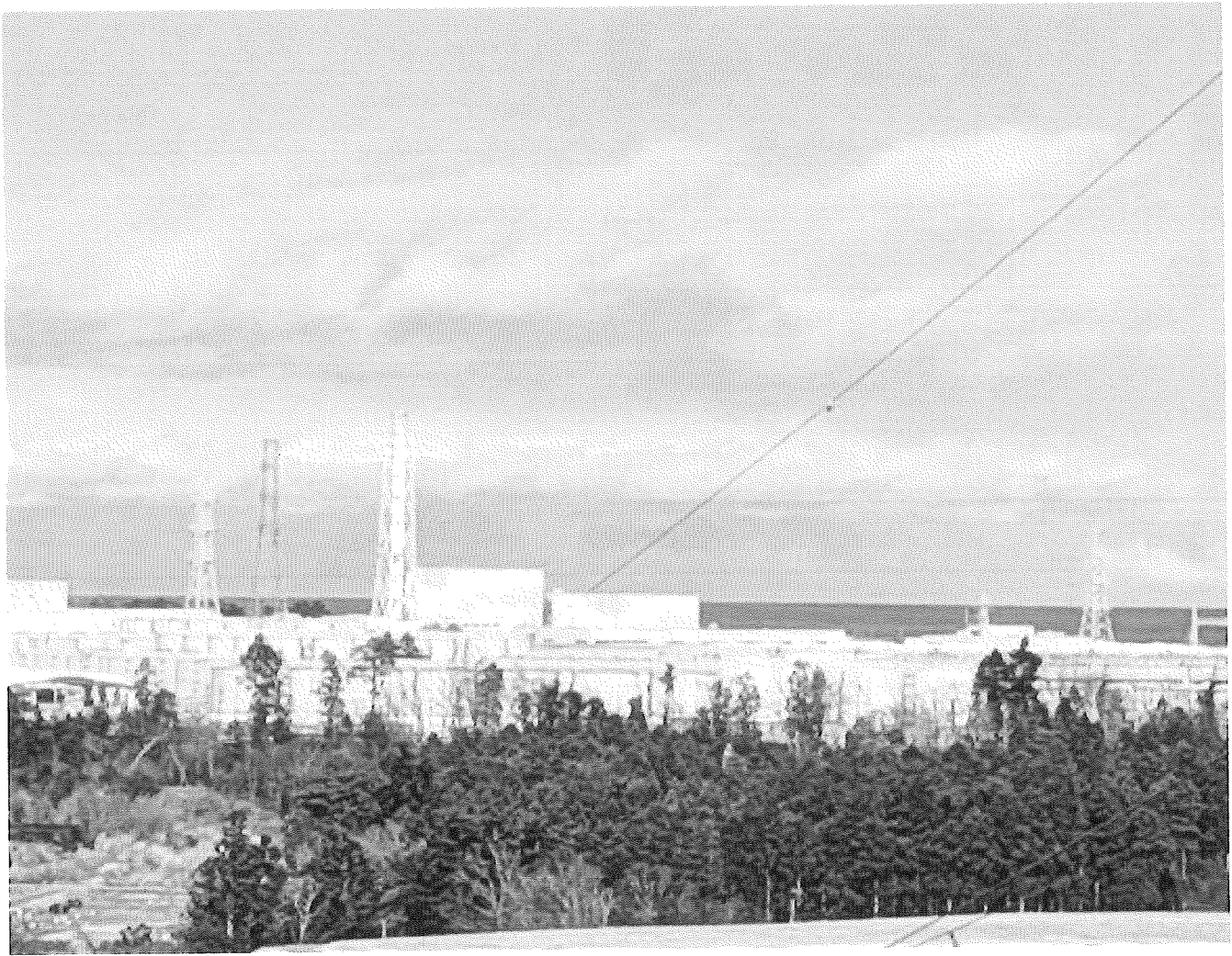
①②爆発した原子炉建屋まで100mの距離。去年はむき出しのままだったが壁で囲われていた。

③原子力災害伝承館、放射性物質を含む汚染土を入れてあるフレコンバッグ。

④減ったとはいえ主に農地に積み上げられている汚染土。

⑤15年間老人ホームに放置された車。

⑥中間貯蔵施設エリアにあった石碑。当時の住民が帰郷の日を思い建てられた。













5441日を経た福島を知る 2026 福島 視察・見学ツアー

参加者募集

2月1日(日)

伊丹空港(10:00)ー仙台空港
(11:15) バス→
環境庁・中間貯蔵施設

2月2日(月)

東日本大震災・原子力災害伝承館
(双葉町)→東京電力廃炉資料館
東京電力・福島第一原発構内

2月3日(火)

大熊町・町内施設等
福島空港(17:15)ー伊丹空港
(18:40)

早割の申込〆切は

10月15日

30～40名の参加を予定しています。
先着順となります。(20名より催行)

<問合せ>

京都自治体問題研究所

TEL 075-241-0781 Fax 075-708-7042

mail : kyoto@kyoto-jichiken.com

豊田旅行

TEL 090-7755-6955

Fax 075-841-1915(24時間受付)

裏面FAX用紙にて豊田旅行まで。

参加費 119,800円 (早割り価格)

(伊丹空港から往復の全日空機代、現地での専用大型バス代、宿泊2泊、
2朝食・2夕食代、見学費用等を含みます)

＊宿泊は2名1室の価格です。

1人部屋を希望の方は追加料金 16,000円となります。

＊出発までにZoomによる2回の事前学習講座を
開催します。

企画：京都自治体問題研究所 旅行手配先：豊田旅行